

平成 27 年度 2 月補正予算

全 会 計

▲13,183,223千円
(債務負担行為 1,772,000千円)
(繰越明許費 5,697,000千円)

一 般 会 計

(歳出)

▲6,725,872千円
(債務負担行為 1,772,000千円)
(繰越明許費 5,201,000千円)

○は現計予算 ●は債務負担行為

◆ 地方創生加速化交付金の活用

【事業費 55,158千円】

- 百舌鳥・古市古墳群魅力発信事業 24,820 千円
 - ・羽曳野市、藤井寺市と共同で百舌鳥・古市古墳群の魅力を発信するため、その雄大さを体感できるよう、映像コンテンツの作成や古墳解説看板の設置をはじめ、古墳群を周遊しやすくするレンタサイクル事業を連携
- シティプロモーション事業 18,300 千円
 - ・本市の都市魅力をさらに発信する取組として、本市出身のアーティスト村松亮太郎氏によるプロジェクションマッピング事業を合同庁舎前の市民交流広場において実施
- 農商工連携・6次産業化推進事業 12,038 千円
 - ・研究機関等のシーズを活用しながら中小企業と農業者の連携を促進するとともに、中小企業の農作物を活用した新商品の開発などに要する経費の補助を実施。加えて、農業者による6次産業化の取組に必要な機械、施設の整備に要する経費の補助

◆ 国の補正予算の活用

【事業費 596,392千円】

- 小学校施設等整備事業 326,100 千円
 - ・本市学校園の老朽化対策モデル構築の一環として、国の「学校施設老朽化対策先導事業」に採択された宮園小学校の改修工事
- 行政情報化推進事務 154,168 千円
 - ・個人情報 of 適正な管理を徹底するため、標的型攻撃への対策、特定個人情報流出防止のための対策を実施
- 路面電車活性化事業 116,124 千円
 - ・安全な鉄道輸送を確保するために鉄軌道事業者が行う安全性の向上に資する設備整備等に対する補助

◆ その他

【事業費 ▲7,377,422千円】
 (債務負担行為 1,772,000千円)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| ○ 各種基金への積立て | 6,714,448千円 |
| ・ 公共施設等特別整備基金 | 5,563,300千円 |
| ・ 区民まちづくり基金 | 1,000,000千円 |
| ・ 大規模災害被災地等支援基金 | 114,248千円 |
| ・ 子ども教育ゆめ基金 | 13,000千円 |
| ・ 地域福祉推進基金 | 10,000千円 |
| ・ 堺市民健康生きがいつくり基金 | 9,900千円 |
| ・ 世界文化遺産登録推進基金 | 4,000千円 |
| ○ 特別会計等への繰出金 | 3,122,031千円 |
| ・ 公債管理特別会計への繰出 | 3,307,100千円 |
| ・ 国民健康保険事業特別会計への繰出 | 126,000千円 |
| ・ 堺市水道事業会計への繰出 | 1,100千円 |
| ・ 公共用地先行取得事業特別会計への繰出 | ▲30,000千円 |
| ・ 介護保険事業特別会計への繰出 | ▲282,169千円 |
| ○ 決算見込み等に伴う補正 | ▲17,213,901千円 |
| ・ 還付金 | 575,069千円 |
| ・ 障害者（児）自立支援給付など扶助費の所要増 | 781,565千円 |
| ・ 人事委員会勧告等に伴う人件費等の所要増 | 451,444千円 |
| ・ 工事の落札差金や事業進捗による不用額に伴う減額など | ▲19,252,905千円 |
| ・ 修繕料など需用費の所要増ほか | 230,926千円 |
| ● 街路事業 | (限度額 1,532,000千円) |
| 【債務負担行為の期間：平成27年度～平成31年度】 | |
| ・ 諏訪森神野線における工期延伸に伴う債務負担行為の設定 | |
| ＜平成28年度事業の入札等の準備行為のための債務負担行為の設定＞ | |
| ● 臨時福祉給付金支給事業 | (限度額 240,000千円) |
| 【債務負担行為の期間：平成27年度～平成28年度】 | |
| ・ 臨時福祉給付金にかかるコールセンター業務等の委託 | |

【繰越明許費】

5,201,000千円

- | | |
|---|-------------|
| ○ 国の補正予算を活用した事業や工事進捗が遅延している事業など、年度内の事業完了が困難なものの繰越明許費を追加補正 | |
| ・ 国の補正予算を活用して実施する事業に伴うもの | 656,000千円 |
| ・ その他工事進捗の遅延によるものなど | 4,545,000千円 |

(歳入)	▲6,725,872千円
○ 市税	800,000千円
○ 地方交付税	1,246,000千円
○ 分担金及び負担金	▲53,000千円
○ 使用料及び手数料	▲45,153千円
○ 国庫支出金	▲6,092,039千円
・ 国の補正予算に伴うもの	151,624千円
(うち地方創生加速化交付金	55,158千円)
・ 工事の落札差金や事業進捗による不用額に伴う減額など	▲6,243,663千円
○ 府支出金	189,863千円
○ 財産収入	▲2,519,965千円
○ 寄附金	36,900千円
○ 繰入金	▲3,220,112千円
○ 諸収入	7,008,234千円
・ 土地開発基金清算金	7,538,000千円
・ 土地開発公社貸付金元利収入	3,000,000千円
・ その他決算見込等に伴う減額など	▲3,529,766千円
○ 市債	▲4,076,600千円
・ 国の補正予算に伴うもの	345,200千円
・ 工事の落札差金や事業進捗による不用額に伴う減額など	▲4,421,800千円

特 別 会 計

◇ 都市開発資金特別会計

(歳 出) ▲939,144 千円

○ 事業進捗による不用額などを補正 ▲939,144 千円

(歳 入) ▲939,144 千円

○ 財産収入 ▲939,144 千円

◇ 国民健康保険事業特別会計

(歳 出) ▲182,722 千円

○ 事務費の減額など決算見込みに伴う不用額などを補正 ▲182,722 千円

(歳 入) ▲182,722 千円

○ 国民健康保険料 ▲299,614 千円

○ 国庫支出金 ▲4,554 千円

○ 府支出金 ▲4,554 千円

○ 繰入金 126,000 千円

◇ 公共用地先行取得事業特別会計

(歳 出) ▲2,894,968 千円

(繰越明許費 496,000 千円)

○ 事業進捗による不用額などを補正 ▲2,894,968 千円

【 繰越明許費 】

496,000 千円

○ 年度内の事業完了が困難なものについての繰越明許費の設定

(歳入)	<u>▲2,894,968 千円</u>
○ 財産収入	▲378,068 千円
○ 繰入金	▲30,000 千円
○ 市債	▲2,486,900 千円

◇ 介護保険事業特別会計

(歳出)	<u>▲2,440,862 千円</u>
○ 介護給付費の減額など決算見込みに伴う不用額などを補正	▲2,440,862 千円

(歳入)	<u>▲2,440,862 千円</u>
○ 介護保険料	▲562,361 千円
○ 国庫支出金	▲558,114 千円
○ 府支出金	▲344,098 千円
○ 支払基金交付金	▲694,120 千円
○ 繰入金	▲282,169 千円

◇ 公債管理特別会計

(歳出)	<u>1,807,100 千円</u>
○ 減債基金への積立金の増額など決算見込みに伴う所要額を補正	1,807,100 千円
・ 減債基金への積立	2,000,000 千円
・ その他決算見込等に伴う減額など	▲192,900 千円

(歳入)	<u>1,807,100 千円</u>
○ 繰入金	1,807,100 千円

企 業 会 計

◇ 水道事業会計

(支 出)	<u>▲782,989 千円</u>
○ 建設改良費の減額など決算見込みに伴う不用額などを補正	▲782,989 千円
(収 入)	<u>▲118,650 千円</u>
○ 水道事業収益	49,990 千円
○ 資本的収入	▲168,640 千円

◇ 下水道事業会計

(支 出)	<u>▲1,023,766 千円</u>
○ 減損会計の実施による所要増や建設改良費の減額など決算見込みに伴う不用額 などを補正	▲1,023,766 千円
・ 減損会計の実施による所要増	520,000 千円
・ その他建設改良費の減額など	▲1,543,766 千円
(収 入)	<u>▲1,637,450 千円</u>
○ 下水道事業収益	462,550 千円
○ 資本的収入	▲2,100,000 千円